

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : Glendale Community College

留学期間 : 平成 27 年 8 月 2 日 ~ 平成 29 年 6 月 15 日

留学生活 2 年目の最初の半年までは同じホームステイ先で生活し、そのあと半年は香港と中国からの留学生とルームシェアをしました。年が近い留学生と共同で生活することで学校の課題を一緒にしたり、学校以外でも英語を話したりする機会が増え、お互いの文化も共有できるのですごく楽しかったです。最初の 1 年で ESL のクラスを終えたので、2 年目からは一般教養と専攻のクラスだけ取りました。ESL とは違い、アメリカ人と全く同じ環境で学ぶのではじめは大変でしたが、復習や宿題をしっかりとしていれば留学生でも A を取れるクラスもたくさんあるので、A を目標に頑張りました。

私が印象に残っているクラスは、コミュニカレッジで最後の学期に取った News Reporting のクラスです。新聞や雑誌に掲載されているニュースを分析するだけでなく、新聞の構成や注目される見出しの書き方、インタビューの仕方などを学習しました。インタビューでは、グレンデール市長に直接インタビューする機会を得ることができました。また、世界で活躍するエンターテイナーの方や自分とは違う人種の方と話すことができた喜びと自信、インタビューで知り得たエピソードなど、すごく刺激的で社会に出ても実際に使える経験をすることができました。カリフォルニアは様々な人種が入り混じっていて、それぞれ違う文化や経験を聞くことができ、それを自分の言葉で人に伝えるという経験がすごく新鮮で難しかったですが、達成感もありました。英語の面で不安もありましたが、このような経験をクラスの一部としてできるのはアメリカ、ロサンゼルスならではの感覚でした。他のクラスでは、実際の企業のように製品をどのように売るかグループに分かれてディスカッションしたり、企業の過去のマーケティングの失敗例と成功例について分析したり、教授が何かを教えるという受動的な講義というよりは、実践的な知識を学んでいます。ほぼ全てのクラスでプレゼンテーションがあるので、情報や自分の意思を伝える力をつけられると思います。コミュニケーション、メディアの分野は SNS の普及により特にグローバル化が進んでいるので、実際に英語でこの分野について学べることは留学のメリットだと思います。

10 月にカリフォルニア州立大学ドミンガスヒルズの 3 年次に編入してからは、寮生活なのでコミュニカレッジの時よりも学生と触れ合う機会が増えました。大学によっても違いますが私の寮はキッチンも付いているので自炊でき、カフェテリアで食事を済ませることもできるので食事の面では困ることはありません。また、たくさんの学生が住んでいて、寮内でのイベントもたくさんあるので、他の学生たちと交流もできます。ルームメイトもいるので、会話や文化を学ぶ面では授業よりも貴重な時間だと思います。また、インターナショナル学生オフィスも充実していて、地元の学生だけでなく世界中からの留学生との交流もたくさんあります。私はアメリカ人とドイツ人のルームメイトがいるので、自分たちの国の文化を共有できて、すごく充実した時間を過ごしています。日本のことを自分より知っている外国人に出会ったり、日本について全く知らない外国人に日本の文化を伝えたり、他の国から見た日本を知ることができたりとすごく楽しいです。

課題やエッセイの量はかなり増えましたが、コミュニカレッジとはまた違う環境で充実した留学生活を送れています。東京オリンピックが開催される日本で、英語で情報を発信できる力はすごく大切だと思うので、今後もこの環境でもっとたくさんの事を吸収したいと思っています。アメリカ人が書いたエッセイや教科書をインターネットで検索して読んでおくと、日本では習わない自然な言い回しや外国人独特の表現を学ぶことができます。また、常に自分の意見を英語で言えるように心がけていればディスカッションが多いアメリカの授業にも早く慣れることができると思います。パソコンでのタイピングも練習しておくと、クラス内でエッセイなどを書く場合も時間を有効に使うことができます。そして何より、日本にいる時でもできるだけ外国人と英語で会話することを心がけることが大切だと思います。外国人との英会話に慣れていれば、留学先に行ってもスムーズに外国人と会話することができます。